

ナシ棚を利用した安価なブドウ簡易雨よけ施設を作成

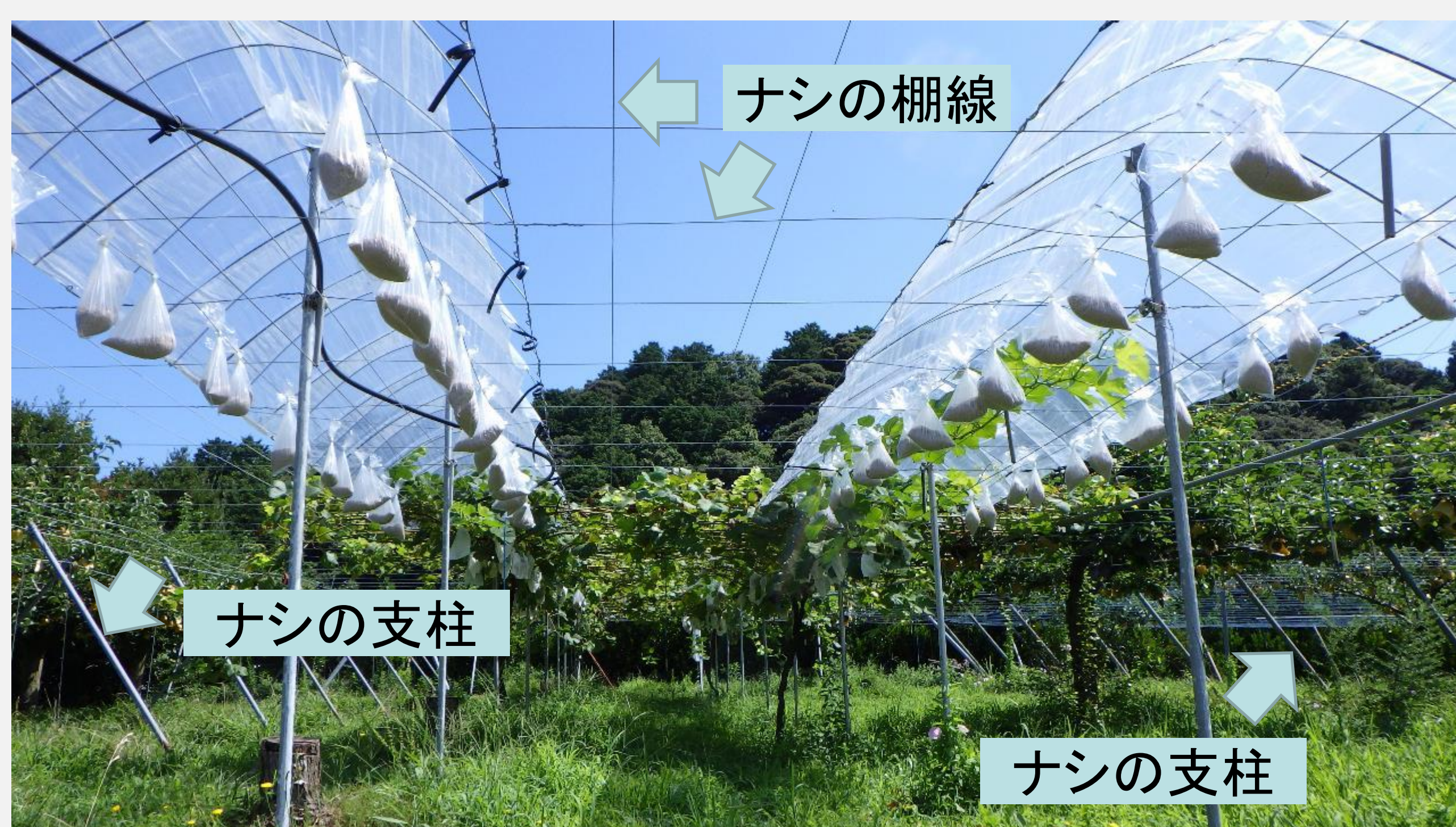
農林センター

問い合わせ先:農林センター丹後特産部 0772-65-2401

主な成果

- ナシ棚をブドウ簡易雨よけ施設に改造するにあたり、中支柱に32mmパイプを使用することで、資材費が従来120万円/10aであるのに対し、本研究の設計では資材費約60万円/10aとなり、低コスト化を実現した。

● 32mmパイプを使用したブドウ簡易雨よけ施設(2022年)



樹が幼木のため、果実の代わりに砂入り袋をぶら下げ強度を調査したところ、強度に問題はなかった(2021年)。

ビニル被覆期間中の中支柱の傾き調査結果(2021年)

	中支柱の傾き角度 (10/5調査)
列方向	0.41°
交差方向	0.27°

ビニル被覆期間中、強風もあったが、中支柱の傾きはわずかであった。

今後、長期間の使用に伴う腐食等に対する中支柱の耐久性を調べる必要がある。

期待される波及効果

- ナシ棚の有効活用により、低コストで収益性の高いブドウ栽培への転換が容易となる